
日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 1 化学物質等の規制，管理の内外の動向に関する知識

単位数	項目番号	項目
2 単位	1-1	<p><化学物質のリスク管理に関する日本の法制の概要等></p> <ul style="list-style-type: none">・法・社会法等・労働安全衛生関係法令(有害物規制を中心に)・労働契約法と安全配慮義務・産業活動に伴う国民や一般環境へのリスク
2 単位	1-2	<p><世界の安全衛生の動きの理解></p> <ul style="list-style-type: none">・英国労働健康安全法制定の経緯(ローベンス報告)・EU 安全衛生枠組指令とリスクアセスメント <p><EUの安全衛生及び環境></p> <ul style="list-style-type: none">・その他の EU 指令・RoHS 指令・REACH 規則の成り立ちと概要 <p><米国安全衛生法></p>
2 単位	1-3	<p><ILOの動き></p> <ul style="list-style-type: none">・ILO 条約・OSHMS・ILO コントロール・バンディング <p><国連及び国連機関の環境・安全の動き></p> <ul style="list-style-type: none">・アジェンダ 21・国連 GHS 文書・IPCS と ICSC、EHC、CICAD

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 2 労働環境における化学物質のリスク評価・リスクとばく露管理

単位数	項目番号	項目
2 単位	2-3	<p><リスク評価と手順, 方法></p> <ul style="list-style-type: none">・リスクの評価・リスクの管理の手法および手順・厚生労働省の化学物質のリスクアセスメント指針の理解・簡易推定法および推定法と適用の注意事項等 <p>[演習]</p> <p><リスク管理の方法の優先順位></p> <ul style="list-style-type: none">・リスク管理の方法の優先順位・事例研究
6 単位	2-1	<p><ばく露評価と管理></p> <ul style="list-style-type: none">・作業環境測定(A・B、C・D 測定)・作業環境測定のリスク判定、リスク管理への応用・個人ばく露測定・個人ばく露測定と作業環境測定の違い
2 単位	2-4	<p><ばく露評価と管理></p> <ul style="list-style-type: none">・生物学的(バイオロジカル)モニタリング <p>[演習] (例)</p> <ul style="list-style-type: none">・バイオロジカルモニタリングの意義と実施上の留意点
2 単位	2-2	<p><ばく露評価と管理></p> <ul style="list-style-type: none">・気中ばく露濃度推定モデル, ボックスモデル 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 3 労働環境における化学物質のハザード評価

単位数	項目番号	項目
3 単位	3-5	<ハザード情報とその区分> <ul style="list-style-type: none">・危険有害性概論・GHS とハザードクラス(化学物質の健康有害性に加え危険性の説明も含む), カテゴリー・SDS・ハザード情報の収集, ハザード情報源, データベース
5 単位	3-4	<化学物質等の人体のばく露限界値等の設定> <ul style="list-style-type: none">・量－影響関係 ・量－反応関係・閾値 ・NOAEL ・LOAEL・不確実係数・ばく露限界値の設定・許容濃度(職業的ばく露限界値 OEL), 日本産業衛生学会値 等・ACGIH-TLV(TWA, CV, STEL)[課題] (例)・量－影響関係・量－反応関係の説明・ばく露限界値(OEL)とその設定方法・毒性試験の意義と種別 等
3 単位	3-1	<毒性物質の体内動態> <ul style="list-style-type: none">・化学物質の生体内動態, 分布, 代謝, 排泄(肝臓, 腎臓の医学, 機能, 生理学の説明を含む)・毒性の発現機序 等
2 単位	3-2	<発がん物質> <ul style="list-style-type: none">・化学発がん(発がんの機序, 発がん性分類, 職業性がん)
2 単位	3-3	<化学物質の毒性の検出方法> <ul style="list-style-type: none">・毒性試験とその種別・構造－活性相関 等
3 単位	3-6	<化学物質等による毒性総論> <ul style="list-style-type: none">・化学物質等による毒性総論(標的臓器, 健康影響, 職業性疾病)・標的臓器の医学, 機能と生理学(粉じんの健康影響に関連して気管と肺, 脳・神経毒性に関連して脳・神経系統, 皮膚の構造と皮膚吸収) 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

—カリキュラム—

コース 4 労働環境における物理的有害因子のリスク管理

単位数	項目番号	項目
3 単位	4-1	<非電離放射線のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・電磁場と影響及びリスク管理・紫外放射と影響及びリスク管理・可視光・レーザー光と影響及びリスク管理・眼の医学・解剖学
3 単位	4-2	<電離放射線のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・電離放射線と影響及びリスク管理・非確定的影響と確率的影響・放射線防護・被ばく防止対策
2 単位	4-3	<振動のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・振動を伴う作業環境と影響及びリスク管理
2 単位	4-4	<温熱のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・温熱作業条件と影響及びリスク管理
2 単位	4-5	<気圧のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・異常気圧下作業と影響及びリスク管理
2 単位	4-6	<騒音, 超音波のリスク管理> <ul style="list-style-type: none">・騒音下作業と影響及びリスク管理, 超音波と影響及びリスク管理, 聴覚器官の医学・解剖学を含む

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **5** 労働環境における生物的有害因子のリスク管理

単位数	項目番号	項目
3 単位	5-1	<p><生物的因子の有害性発生機序></p> <ul style="list-style-type: none">・微生物・細菌・ウイルス・真菌・原虫・プリオン 等 <p><生物的因子のリスク評価の実際></p> <ul style="list-style-type: none">・室内空気汚染物質としての生物的因子の定義・微生物エアロゾルによる室内空気汚染・浮遊微生物の補修方法・浮遊微生物による健康影響・生物的因子のリスク評価 <p><生物的因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション></p> <ul style="list-style-type: none">・生物的因子のリスク削減と感染症発生リスク要因の評価・感染症成立の3要因とリスク削減 等 <p><生物的因子にかかる緊急リスクへの対応></p> <ul style="list-style-type: none">・感染症が発生した場合・特定の感染症に対する対策

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

—カリキュラム—

コース 6 一般環境のハザード・リスク評価及びリスク管理

単位数	項目番号	項目
3 単位	6-1	<環境科学概論> <ul style="list-style-type: none">・環境汚染物質・環境リスクと安全・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・地球環境問題・環境倫理
2 単位	6-2	<環境保健概論> <ul style="list-style-type: none">・環境汚染物質の人への影響・代謝・毒性試験・生体濃縮・発がん物質・環境保健問題の事例 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **7** 労働衛生工学概論

単位数	項目番号	項目
6 単位	7-1	<有害化学物質等の発散抑制のための工学的対策と管理> <ul style="list-style-type: none">・工学的対策の概要・工法, 工程の改良・発散抑制設備等とその原理及び設計(密閉設備, 局所排気装置, プッシュプル型換気装置, 全体換気装置等) 等
2 単位	7-2	<排ガス・粉じん・廃液の処理技術 > <ul style="list-style-type: none">・各種除じん装置・排ガス処理装置・廃液処理法 等
2 単位	7-3	<労働衛生保護具> <ul style="list-style-type: none">・種類, 構造, 機能, 管理, 使用, 取扱い上の留意点・防護係数・フィットテスト・皮膚の保護具・目、顔面、聴覚保護具 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **8** 工学的対策の基礎（作業環境，一般環境）

単位数	項目番号	項 目
5 単位	8-1	<化学工学の基礎> <流体力学の基礎> <粉体工学の基礎>

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース 9 労働と人間工学

単位数	項目番号	項目
2 単位	9-1	<p><健康管理概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の意義と目的 ・標的臓器 ・正常値 ・許容値 ・一般および特殊健康診断の目的 ・健康診断の事後措置 ・過重労働等に係る面接指導等 ・健康管理に関する情報の管理 ・健康管理手帳制度 ・企業外労働衛生機関 等
1 単位	9-2	<p><労働衛生教育概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場における労働衛生教育 ・労働衛生教育の目標 ・労働衛生教育の実際 等
1 単位	9-3	<p><職業性疾病と作業関連疾患></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業性疾病 ・有害要因別の職業的健康障害 ・作業関連疾病 ・特定の労働者の健康管理(シックハウス, 化学物質過敏症等) ・産業保健 等
2 単位	9-4	<p><産業精神保健概論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健対策のあゆみ ・精神障害者の医療 ・地域精神保健福祉対策 ・精神障害者と社会復帰 ・心の健康づくり ・メンタルヘルス 等
4 単位	9-5	<p><労働と人間工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間工学とは ・作業方法 ・作業姿勢 ・作業負担の改善 ・上肢作業 ・交替制勤務(深夜業務) ・照明 ・VDT 作業 ・職業性腰痛 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

—カリキュラム—

コース **10** 公衆衛生学

単位数	項目番号	項目
3 単位	10-1	<p><衛生統計学概論></p> <ul style="list-style-type: none">・人口静態統計・人口動態統計・生命表・健康状態と受療状況 <p><食品保健および栄養概論></p> <ul style="list-style-type: none">・食品衛生法と食中毒・食品安全基本法と食品安全・食品表示・栄養と日本人の食事摂取基準 等 <p><衛生行政概論></p> <ul style="list-style-type: none">・衛生行政の沿革・衛生行政の組織・保健所 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座
——カリキュラム——

コース **11** 疫学的アプローチの基礎

単位数	項目番号	項 目
3 単位	11-1	<疫学調査> ・疫学調査の目的, 動機, 位置付け ・疫学調査法の分類 ・疫学調査の実施例 等

日測協認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座

——カリキュラム——

コース **12** リスクコミュニケーション

単位数	項目番号	項目
1.5 単 位	12-1	＜残留リスク, リスクコミュニケーション＞ ・リスク削減 ・残留リスク管理
2.5 単 位	12-2	＜残留リスク, リスクコミュニケーション＞ ・リスクコミュニケーション(GHS ハザードコミュニケーションは除く) ・危機管理
